

Ⅶ 施設案内

- 1 附属図書館
- 2 総合博物館
- 3 研究資源アーカイブ
- 4 情報環境機構
- 5 京都大学以外の施設利用案内

1 図書館機構—学習活動を支える知的空間／創造の広場—

京都大学には附属図書館や吉田南総合図書館をはじめ、各学部などに設置された約50の図書館・室があり、京都大学図書館機構として、連携しながらサービスを行っています。

それぞれの図書館・室では、学習のための快適な空間を備えており、また、学問分野に沿った図書や雑誌を収集しています。国宝や重要文化財を含む全学で約690万冊に上る蔵書冊数は、質・量ともに国内有数の規模を誇ります。さらに、電子ジャーナルや電子ブック、様々な分野のデータベースを学内ネットワーク上で提供しており、学位論文など京都大学の教育・研究の成果はインターネットを通して広く公開しています。

また、各図書館・室は、図書館利用や資料収集法などの質問に答えるとともに、データベースの使い方や論文・レポートの書き方まで、学習に不可欠な学術情報リテラシーを高めるための講習会を行っています。皆さんの学習に図書館を大いに活用してください。

[図書館を利用するには]

- ・ 図書館の利用や図書を借りる際には、学生証が必要です。
- ・ 図書館オンラインサービスMyKULINEや電子ジャーナルなどのオンライン資料の利用には、学生アカウント（ECS-ID）が必要です。
- ・ 図書館機構ウェブサイトでは、サービスの案内や講習会などのお知らせが確認できます。
- ・ 各図書館・室の利用案内は、図書館機構ウェブサイト > 図書館・室一覧 から、ご覧いただけます。

< 附属図書館の開館時間 >

平日：8時～22時／土・日・祝日：10時～19時

< 吉田南総合図書館の開館時間 >

平日：9時～20時／土：10時～15時

※休館日情報は、図書館機構ウェブサイト > 開館日程 から確認できます。



附属図書館



吉田南総合図書館

[資料を利用するには]

- ・ 京都大学蔵書検索KULINEで、資料の情報や所在を調べられます。
- ・ MyKULINEで、借りている図書の返却期限の延長、貸出中の図書の予約、学外からの資料取り寄せの申し込みなどができます。
- ・ 図書館機構ウェブサイトから、電子ジャーナルやデータベースへリンクしています。



図書館機構ウェブサイト



京都大学蔵書検索KULINE

[図書館をさらに活用するには]

- ・ 附属図書館学習サポートデスクでは、大学院生スタッフが図書館利用や学習に関する相談にお答えします。
- ・ 全学共通科目「大学図書館の活用と情報探索」を履修することで、体系的な学術情報リテラシー能力を身に付けられます。

[附属図書館の主な施設]



ラーニング・commons

グループワークや発表練習等の多様な学習に使えます。



学習サポートデスク

ラーニング・commonsで平日午後後に開設しています。



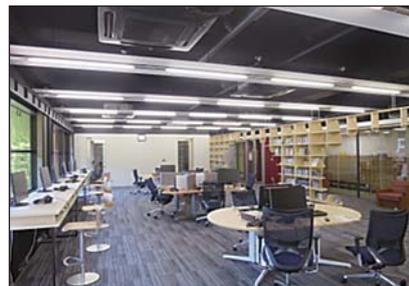
共同研究室

グループ学習用に大きさの異なる5室があります。



学習室24

24時間利用できる自習スペースです。



メディア・commons

映像や音楽などのメディアを視聴できます。



情報端末エリア

レポート作成やネットワーク利用ができます。

2 総合博物館

総合博物館は、京都大学開学以来100年以上に渡り収集された、260万点にも及ぶ学術標本資料を収蔵しています。これらを研究し、未来に伝えること、そして京都大学の教育・研究の成果を社会に発信することの二つが、総合博物館の重要な使命です。

モノの研究ができる総合博物館

総合博物館の有する学術標本資料（モノ）には、文系では、国宝・重要文化財やそれに準ずる資料、理系では、生物・化石の学名の基準となる標本（タイプ標本）などが多数含まれ、国際的にも貴重なコレクションです。21世紀の今日、科学の発展にともなって分析手法や解析手法の進歩はめざましいものがあります。京都大学総合博物館に収蔵される学術標本資料は、これらの手法の切れ味を試すのにふさわしい優れた素材です。利用しやすい形で保管されていて、学内外の研究者が頻繁に活用しています。卒業論文や修士・博士論文のための研究にも利用することができます。

研究成果を公開する総合博物館

文化史・自然史・技術史と広い分野にまたがる常設展（*）のほか、最新の研究成果を公開する企画展示・公開講座、児童・生徒に向けた学習教室・体験教室などを開催し、京都大学における学術活動の成果を公開する役割を担っています。これらの展示や催しを通じて諸先輩の優れた研究に触れることにより、知的刺激を受けたり、研究のヒントを得たりすることができるかもしれません。

- *文化史系展示：古文書・古記録といった歴史資料、京都市内の古地図、様々な様式の石棺、発掘調査や海外学術交流によってもたらされた土器や石器、金属製品などを展示しています。
- *自然史系展示：ナウマン象のタイプ標本などの化石、芦生研究林や霊長類研究所での研究成果を中心に温帯林の生態系やチンパンジーの生態、またマレーシアとの共同研究の成果などを展示しています。
- *技術史系展示：三高時代や創設期の京都大学で使われた機械メカニズム模型などを展示しています。



文化史系展示



自然史系展示



技術史系展示

総合博物館の利用について

- ・開館時間 9:30～16:30（入館は16:00まで）
- ・休館日 月曜・火曜（平日・祝日にかかわらず）及び年末年始（12月28日～1月4日）
創立記念日（6月18日）
夏季一斉休業日（8月第3週の水曜日）
- ・入館料 本学の学生は無料（学生証の提示が必要）

総合博物館の詳しい情報はホームページで発信しています。

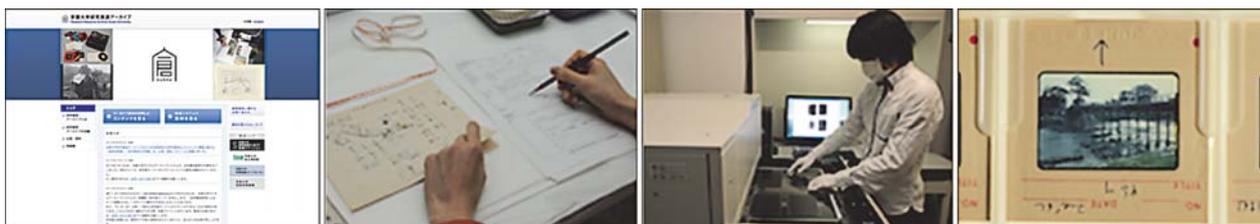
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

3 研究資源アーカイブ

京都大学では、日々研究が進められ、その過程で、様々な研究資料が生み出されています。

京都大学研究資源アーカイブ（Research Resource Archive, Kyoto University : KURRA）では、写真、映像や録音、フィールドノートや研究会の記録など、研究が生み出す多彩な資料を保存し、将来の教育や研究に活用していくために活動しています。その成果は、京都大学デジタルアーカイブシステム（Kyoto University Digital Archive System / 愛称 Peek）と映像ステーション（Audio-Visual Station : AVS）で公開しています。

詳しい情報は、ホームページで、<http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学デジタルアーカイブシステムPeekは、KURRAのアーカイブ資料の情報を閲覧・検索するためのオンラインサービスです。資料の画像・映像等デジタルデータがあれば、資料の内容も閲覧できます。資料は、デジタルコレクション*ごとに閲覧できます。デジタルコレクションをこえて、キーワードや人名、組織・団体名から検索することもできます。

また、より深く調べたいときには、研究者モードから、自分のECS-IDを使ってログインしてください。学内限定で公開している資料も閲覧することができます。

※デジタルコレクションは、資料を作成・収集し保管してきた研究者や研究組織（出所）による資料のまとまりの単位です。



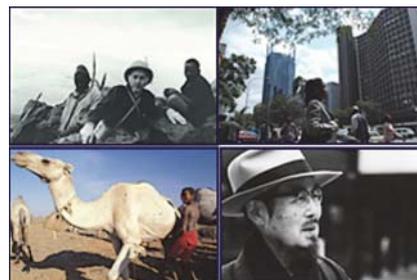
映像ステーションAVSは、KURRAの収蔵資料を視聴・閲覧できる施設です。様々な研究資源のデジタル情報や、それに基づいて作成された映像コンテンツ、映像資料が公開されています。また、研究資源に関係する様々なイベントやワークショップを実施し、資料をもとにした交流の場としても活用されています。

※AVSは、平成28年度、総合博物館内でのリニューアルオープンを予定しています。総合博物館の開館時間に利用できる予定です。

○AVSで視聴・閲覧できる映像コンテンツ（抜粋）

アフリカへの道	9分29秒
動きつづける大陸	13分09秒
道は、ひらける—石井米雄の東南アジア研究—	13分42秒
三角縁神獣鏡	10分46秒
無の哲人、禅の思想から日本哲学へ：西田幾多郎	11分29秒
変動する宇宙の姿—京都大学の宇宙世界—	14分28秒
湯川秀樹—その人—	9分30秒
万能細胞（ダイジェスト版）	17分05秒

このほかAVS限定のPeekデジタルコレクションも閲覧・検索できます。



4 情報環境機構

情報環境機構は、教育・研究など本学のさまざまな活動を支える高い安全性と利便性を備えた先端的情報環境の構築・運営を目的として活動しています。情報環境機構では学内外を高速のネットワークで結ぶ学術情報ネットワークサービス (KUINS)、全国共同利用のスーパーコンピューティングサービスや、本学での教育を支援する教育用コンピュータシステム、語学学習システム、遠隔講義支援システムなどの情報教育支援サービスなど多様な情報サービスを統一的に提供しています。

情報環境機構が提供する各種情報サービスについては下記のURLを参照してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services>

情報サービスをご利用いただくにあたって一情報セキュリティe-Learningの受講—

京都大学の情報環境をご利用いただくにあたっては、情報セキュリティを守っていただく必要があります。例えば、情報の著作権の尊重、ネットワークや計算機への適切な管理やアクセス、自分自身の情報を含めた個人情報の慎重な扱いとプライバシーの尊重、電子的なコミュニケーションで生じやすいトラブルの回避などです。京都大学の構成員には、情報サービスの安全で効果的な利用のために、情報セキュリティに関するe-Learningの受講が義務付けられています。ECS-IDを有効化したら、PC端末からすぐに受講し、情報セキュリティや求められるルール・マナーを学び、適切な利用を心がけてください。

(1) 学生アカウント (ECS-ID)

京都大学の情報サービスを利用するためのアカウントとして学生の方にはECS-IDという学生アカウントを提供しています。ECS-IDは、OSL (Open Space Laboratory) のPC端末、全学生共通ポータル、各種e-Learning、ネットワークへの接続、KULASIS、MyKULINE、電子ジャーナル、証明書自動発行機など学内の多数の情報サービスに利用できます。

通常、入学あるいは転入時にECS-ID及び有効化キーが記載された通知書を封筒に入れてお渡ししますので、有効化処理を行ったうえで、大切に保管してください。ECS-IDは在学期間中有効で、転部や大学院への進学に際しても同じECS-IDと学生用メールアドレス (KUMOI) を継続して利用いただけます。

封筒を受け取っていない方あるいはECS-IDに関してお困りのことがあれば、情報環境支援センター (学術情報メディアセンター南館1階窓口) へお越しくください。

(2) 学生用メール (KUMOI)

学生の方には、ECS-IDと合わせてKUMOIという学生用のメールアドレスが発行されます。KUMOIは、Microsoft社のOffice365 Educationというメールサービスを使っています。

大学からの連絡事項などはこのメールアドレスに配信しますので、1日1回はチェックするようにしてください。

全学生共通ポータル (<https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/>) 又は直接ログイン画面 (<http://mail.st.kyoto-u.ac.jp/>) にアクセスしてご利用ください。携帯電話やスマートフォンからもアクセスできます。普段お使いのメールアドレスや携帯電話などに転送設定しておくとう便利です。

転送設定：[\(https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp/\)](https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp/)

(3) 学内でのネットワークの利用

京都大学のネットワークシステムをKUINS (クインズ: Kyoto University Integrated information Network System) と呼んでいます。

KUINSは、吉田キャンパス、宇治キャンパス、桂キャンパスなどの各キャンパスや原子炉実験所、霊長類研究所、生態学研究センター、各研究科附属施設等の遠隔地施設などを接続し、各種の情報サービスが利用できるようになっています。

KUINSを利用するには、研究室に設置している情報コンセントを利用する方法と図書館等の学内の公共スペースに設置している無線LANを利用する方法があります。卒業研究などで研究室に配属されない場合、研究室内の情報コンセントは使えませんが、学内の多くの公共スペースに設置されている無線LANはECS-IDを持っていれば誰でも利用できますので、無線LANをご利用ください。

無線LANは、無線LANアクセスポイント (SSID: KUINS-Air) を選択し、ECS-IDによる認証でKUINSに接続して利用します。KUINS接続後は、インターネットにアクセス可能となります。

詳しくは下記のURLを参照してください。<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/>

(4) 教育用コンピュータシステム

全学の学生・教員が利用できる教育用コンピュータシステムのPC端末約1,300台を学術情報メディアセンター南館演習室と各学部のサテライト演習室、後述のOSLに配置しています。これらのPC端末には各種ソフトウェアが導入されており、レポートの作成やプログラミングの学習、ウェブによる情報収集や電子メールによる情報交換が行えます。また、外国語会話の双方向での学習を支援する語学教育システム（CALL: Computer Assisted Language Learning）も組み込まれており、OSLにおいては利用者自身が所有のヘッドフォンを持込むことによりCALL教材の自学・自習ができます。サテライト演習室は、それぞれの学部の講義・演習に利用されますが、授業等の占有利用時間外の運用は学部によって異なります。利用を希望する人は各学部に確認してください。

教育用コンピュータシステムではPC端末やファイルサーバ、プリンタなど限られた資源を多くの利用者が共同で利用していますので、他の利用者に配慮し、許された利用条件の範囲で有効に利用してください。設備やソフトウェアは貸借物品ですので大切に扱ってください。機器やソフトウェアについては保守や更新を行っていますが、必ずしも個人の希望に沿った新規導入などができるわけではないことをご理解ください。

PC端末の利用については下記のURLを参照してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/terminal/>

この他、情報環境機構では、各学部に設置された遠隔講義システムにより学部間や他大学との遠隔講義の支援も行っています。



学術情報メディアセンター南館（OSL）建物



OSL風景

(5) オープンスペースラボラトリ（OSL）

学術情報メディアセンター南館1階・北館2階、附属図書館3階、吉田南総合図書館2階、桂キャンパス船井交流センターの5か所にOSLを設置しています。OSLの利用にあたっては利用規程、利用心得の遵守をお願いしています。学術情報メディアセンター南館1階のOSLには利用者の補助のためにティーチングアシスタント（以下、TA）が駐在しています。利用にあたって不明な点などは、TAに相談して解決してください。なお、各種ソフトウェアの利用方法については、市販の書籍などを参照してください。

開館時間

- ・センター南館OSL：月曜日～金曜日（ただし、国民の祝日等は休館）午前10時～午後8時
土曜日（ただし、国民の祝日等は休館）午前10時～午後6時
- ・センター北館OSL：月曜日～金曜日（ただし、国民の祝日等は休館）午前10時～午後5時
- ・附属図書館、吉田南総合図書館、船井交流センター：各館の開館時間に従います。

(6) スーパーコンピュータの利用について

学術情報メディアセンターは、全国共同利用機関としての一面も担っています。大規模計算向けにスーパーコンピュータの利用サービス（有料）を行っており、このサービスを利用することで、PC端末などの小規模な計算機では解くことのできない大容量の計算を高速に実行することができます。

4回生の学部学生は、卒業研究の目的で指導教員の監督の下にこのサービスを利用できます。また、4回生以外でも、スーパーコンピュータを利用した全学共通科目を履修すると、履修期間中、自習のために本サービスを無料で利用することができます。

5 京都大学以外の施設利用案内

(1) 京都府立ゼミナールハウス (愛称：あうる京北)

〒601-0533

京都市右京区京北下中町鳥谷2番地

電話 075-854-0216

FAX 075-854-0316

ホームページ <http://kyosemi.or.jp/>

E-mail kyosemi@oak.ocn.ne.jp

※申し込み方法

電話予約しホームページの申込書 (ExcelまたはPDF) を送付します。

(利用を希望する日の1年前から受付可)

※休館日

年末年始 (12/28~1/4)

1月と2月の第3月曜日

※その他

食 事 料 金 朝食570円, 昼食800円, 夕食1,430円 (いずれも税込)

宿 泊 料 金 1,800円~ (2人以上で1室ご利用の場合 お一人様1泊)

※お一人で1室ご利用の場合は¥2,500になります。

宿 泊 定 員 最大200名

研修室料金 洋室20人用1日4,000円~ (洋室6室・和室10室有り)



(2) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家

〒656-0543

兵庫県南あわじ市阿万塩屋町757-39

電話 0799-55-2695 (事業推進係)

ホームページ <http://awaji.niye.go.jp/hp/>

E-mail awaji-shinsei@niye.go.jp

※申し込み方法

電話で空き状況をご確認の上, Webからお申し込みください。

詳細は, 上記まで。

※休館日 年末年始 (12/28~1/4)

※その他

食事料金 朝食430円, 昼食550円, 夕食690円

(バイキング方式)

シーツ洗濯料金 200円

施設使用料金 無料

宿泊定員 400名

(3) 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

〒917-0198

福井県小浜市田島区大浜

電話 0770-54-3100

FAX 0770-54-3023

ホームページ <http://wakasawan.niye.go.jp/>

E-mail wakasawan@niye.go.jp

※お申し込み方法

電話で予約願います。

※休館日

年末年始(12/28~1/4), 施設等整備の日

※ご利用料金

- ①食事料金 1,640円
(朝食450円, 昼食520円, 夕食670円)
- ②施設使用料 無料
(ただし, 一般利用のみ1人1泊800円)
- ③シーツ等洗濯費用 200円
- ④その他研修活動によっては料金が発生
しますので, ホームページでご確認ください。

※その他

宿泊定員 300名

2名様から利用できます。

日帰り利用も可能です。



プライベートビーチを持つ国立若狭湾青少年自然の家で、波の音を聴きながら部活動・サークル合宿やゼミ合宿をしませんか？

冬季でも、体育館や研修室で、合宿を行うこともできます。ぜひ、ご利用ください。



ススキの大草原曾爾 みんなで作るたくさんの思い出！
平成の名水100選, ホタル飛び交う清流, 自然豊かな曾爾高原でサークル合宿をしませんか？

体育施設・研修室などもあり, サークル合宿・ゼミ合宿にはぴったりです。

近くには美人の湯で知られる温泉施設「お亀の湯」もあります。(温泉までは車で約5分)

近鉄榛原駅からの送迎については当自然の家にご相談ください。

(4) 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立曾爾青少年自然の家

〒633-1202

奈良県宇陀郡曾爾村太良路1170

電話 0745-96-2121 (代)

FAX 0745-96-2126

ホームページ <http://soni.niye.go.jp/>

E-mail soni@niye.go.jp

※お申し込み方法

電話で予約願います。

詳細は, 上記まで。

※休館日

年末年始(12/28~1/4)

施設・設備整備の日

※ご利用料金

- ①食事料金 1,640円 (朝昼夕3食の場合)
- ②施設使用料 無料
(ただし, 一般利用の場合1人1泊800円)
- ③シーツ等洗濯料 1人200円

※その他

宿泊定員 400名

2名様よりご利用になれます。日帰り利用も可。



マスコットキャラクター
“そにっと”